

ゼロ

0から創る奈良

2013.3.15.FRI

vol.64

市民が主役の奈良市政をめざします。

topic 改革を止めるな

2013年3月15日 仲川げん後援会

仲川げん

書:紫舟



先日の3月定例会市議会、代表質問の中で次期市長選への出馬表明を行いました。市民感覚とかけ離れた時代錯誤の古い市政の刷新を掲げ、市長選への立候補を表明したのは4年前の春。積み重なる政治への不信や諦め、街の未来への漠然とした不安や閉塞感を、「何とかしてほしい!」と願う市民の切実な想いが、私を市長に選んで頂いた最大の要因であり原動力だと思います。そしてこの4年間、私はマニフェストに掲げた「脱利権・しがらみ」「行政のムダ0(ゼロ)」を始めとする様々な改革に着手してきました。市内業者201社が指名停止となる歴史的談合事件を端緒とする入札制度改革、無責任な放漫経営が負の遺産を膨らませ続けてきた土地開発公社の清算、全入居者の2割にも及ぶ市営住宅の長期滞納者に対する明渡し訴訟、家庭系ごみ収集の民間委託や特殊勤務手当の大幅削減などの現業部門改革など、いろいろな取り組みを進めてきましたが、いずれも市民感覚と照らし合わせると「ごく当たり前」のものばかりです。これらの改革が一定道筋をつける事ができた最大の理由は、1つには時代の変化、もう1つは市政刷新を求める市民の声(世論)が大きな支えとなった事です。「自分には関係ない」と市政に無関心を決め込んだり、「誰がやっても同じ」と諦める、いわゆる「おまかせ民主主義」から卒業し、行政や議会が過ちを犯していないか、本来の役割が機能しているかを住民が自ら監視する事がこれからは重要です。(裏面ににつづく)

市長ブログ、更新中!

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます!

携帯からもご覧いただけます。→

市長の日常をより身近に

ツイッター始めました。→ @nakagawagen

<http://www.nakagawagen.net/blog/>



プロフィール

1976年生まれ。北大和(現奈良北)高校卒。立命館大学経済学部卒業。国際石油開発帝石(株)及び奈良NP0センターでの勤務を経て2009年7月、脱利権・脱ムダを訴え33歳で奈良市長に当選。マニフェストである「行政のムダゼロ」「生活の不安ゼロ」「観光の渋滞ゼロ」をはじめ、入札制度改革や事業の見直し、民間委託の推進などにより就任3年で約67億円のコストカットを実現。市長退職金の不支給や外郭団体の整理統合、各種手当の大幅減額や廃止等、徹底したムダの排除に取り組んでいる。2011年「日本を立て直す100人」(AERA)に選ばれる。二児(3歳と0歳)の父として、子どもや孫の世代に責任の持てる政治をめざす。

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: info@nakagawagen.net

(つづき) この4年間で着実に進み出した市政改革を
逆戻りさせることなく、しっかりと定着させ、奈良
が持つ潜在的な力・魅力を最大限発揮させ、市民が

誇りと感謝を感じ、世界から憧れと敬意をもって称
賛される都市へと発展させるべく、引き続き全力で
市政運営を担わせて頂きたいと思えます。

3月前半の活動報告

1日(金)管理職会議、一条高校卒業式、答弁調整

2日(土)奈良ライオンズクラブ杯奈良市学童軟式野球大会、明治地区防災訓練、第1回奈良市消防団活性化大会、お水取りご案内

3日(日)春季佐保川・菰川・菩提川一斉清掃、民主党奈良県連定期大会、新年度人事
打合せ

4日(月)庁議、慶州市金副市長ほか訪問団来訪、池田水道事業管理者MTG、答弁調整

5日(火)3月定例会代表質問(公明党・民主党・共産党・政友会・政翔会)
一般質問(森岡議員)

6日(水)3月定例会一般質問(藤本議員・西本議員・横井議員・植村議員・中西議員・宮
池議員・樽谷議員・北村議員・池田議員)

7日(木)3月定例会 一般質問(吉川議員・伊藤議員・内藤議員・山本議員・酒井議員・
松石議員・天野議員・岡田議員)

8日(金)リニア誘致・きたまち観光案内所開設準備・中核市市長会新年度体制・ほかMTG、
奈良西ライオンズ野球委員長ほか来訪

9日(土)生涯学習フェスタ2013@中部公民館、奈良市梅花会総会、ビジネスプランコンテ
スト発表会、復興支援チャリティコンサート

10日(日)【出張】復興多賀城「未来への祈り」出席@多賀城市

11日(月)【出張】東日本大震災多賀城市追悼式@多賀城市

12日(火)庁議、小浜市松崎市長ほか使節団来訪、人事調整

13日(水)都市マスタープラン・住宅ストック計画改定・月ヶ瀬温泉リニューアルほかMTG



「お松明」と共に多賀城へ

数字で見るマニフェスト 人口減少に歯止め～人口減少率は4分の1に～

日本社会全体が人口減少と少子高齢化を迎える中、本市においても平成12年をピークに年々減少傾向にあり、いかに人口減少を食い止めるかが喫緊の課題です。マニフェストの中でも特に子育て世代の人口流入と定住促進に力を入れ、様々な対策を講じています。これは消費意欲の高い現役子育て世代がもたらす経済効果の側面と、街の維持発展に欠かせない年代バランスの補正という観点からも重要です。ではこの4年間で奈良市の人口減少はどう変化したのかを検証してみます。

人口統計は県の発表数値を用い、毎年10月1日現在の人口を基準として比較すると、前藤原市長時代の4年間(平成17年～20年)では3,766人(1.02%)の減少でした。つまり毎年1,000人程度人口が減っている状態です。これに対し、私の任期4年間(平成21年～24年)では972人(0.27%)、年間では243人となり、減少率は4分の1程度まで大幅に緩和されています。

減少傾向に一定歯止めがかかったとはいえ、まだ減り続けているのが現実です。今後、大幅な増加は見込めないとしても、あらゆる対策を講じて改善傾向をさらに高めたいと思えます。

後援会からのお願い

毎週金曜日(午前7時～8時)は朝立ち(駅頭演説)を続けています。市民のみなさんと直接出会える貴重な機会だと思ひ、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力をお願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報広聴課まで。

仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>

Email info@nakagawagen.net

FAX 0742-26-0398

ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街を一緒に創っていきましょう!

